

3. ダクト設備工事

(iii) 継手の板厚は、次による。

ダクト内径 [mmφ]	最小厚さ L [mm]
315 以下	0.6
315 を超え 710 以下	0.8
710 を超え 1 000 以下	1.0
1 000 を超え 1 250 以下	1.2

(iv) 継手の差込み長さは、次による。

ダクト内径 [mmφ]	最小長さ L [mm]
315 以下	25
315 を超え 800 以下	50
800 を超え 1 250 以下	100

(e) ダクトのシール 内部静圧の圧力区分と使用するはぜに応じたシールクラスのシールを施す。ただし、スパイラルダクトのロックシームは、シール条件から除外する。

a ダクトのシールクラスとシールの必要箇所は、次による。

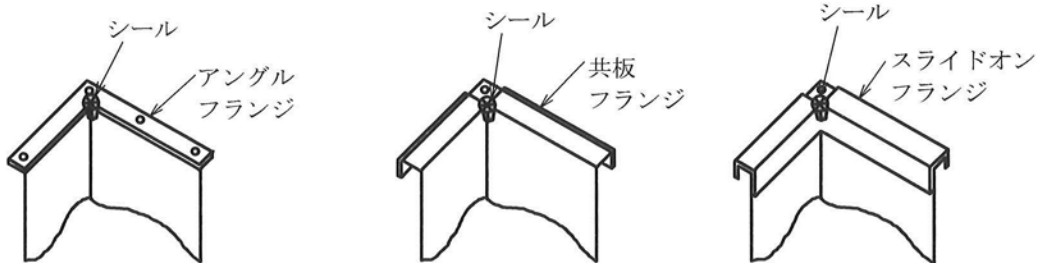
シールクラス	シールの必要箇所
N シール	① ダクト接合フランジ部のダクト折返し四隅部 ② コーナー金物とフランジ部
A シール	① 縦方向のはぜ部
B シール	① ダクトの接合部
C シール	① ダクト貫通部(リベット・ボルト・タイロッドなどすべてを含む)

注 シール必要箇所のシール要領は、次図による。

シールの施工例（一）

（a） Nシールの部位の例

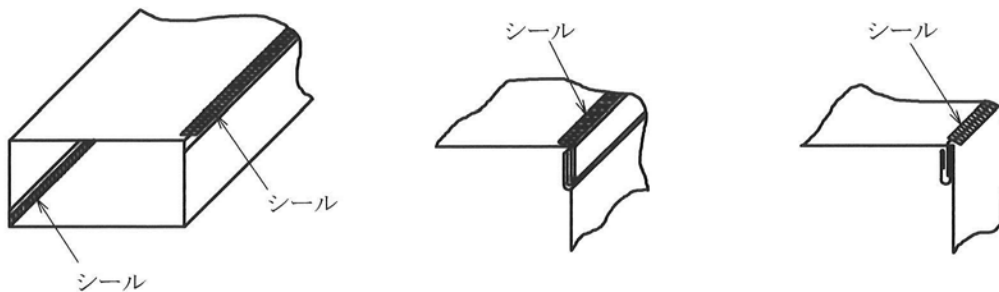
- (1) アンゲルフランジ工法ダクト (2) 共板フランジ工法ダクト (3) スライドオンフランジ工法ダクト



Nシール ダクト接合部のダクト折り返し四隅部をシールする。

（b） Aシールの部位の例

- (1) 縦方向のはぜのシール (2) ピッツバーグはぜ部シール (3) ボタンパンチスナップはぜ部



Aシール ダクト縦方向のはぜ部をシールする。

注 (イ) 長方形ダクトのシール

- ・低圧ダクトは、Nシール
- ・高圧1ダクトの、ピッツバーグはぜは、Nシール、ボタンパンチスナップはぜは、N+Aシールとする。
- ・高圧2ダクトは、正圧1,000 Paを超える場合は、N+Aシールとし、特記によりBシールを行う。
- ・排煙ダクトは、Nシールとする。

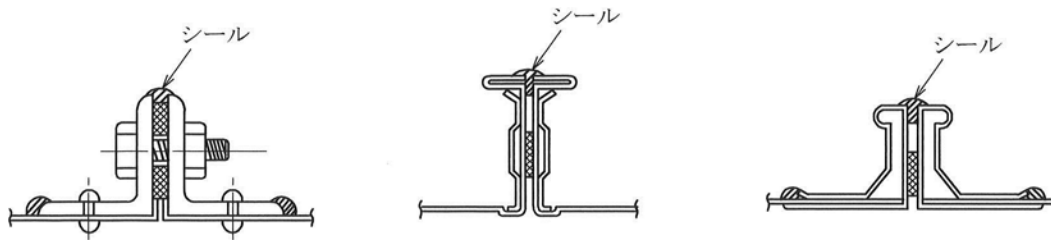
(ロ) 円形ダクト

- ・高圧1ダクトは、Aシール、Bシールとする。
- ・高圧2ダクトは、Aシール、Bシールその他、特記によりCシールを行う。

シールの施工例(二)

(c) Bシールの部位の例

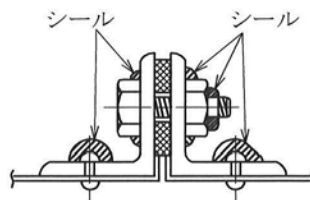
- (1) アングルフランジ工法 (2) 共板フランジ工法 (3) スライドオンフランジ工法



Bシール ダクト接続部をシールする。

(d) Cシールの部位の例

- (1) リベット、ボルト廻り



Cシール ダクトの組立構成材、補強材等の部品であるリベット、ボルト、タイロッド等がダクトを貫通する部分をシールする。

注 (イ) 長方形ダクトのシール

- ・高圧2ダクトは、正圧1,000Paを超える場合は、N+Aシールとし、特記によりBシールを行う。

(ロ) 円形ダクト

- ・高圧1ダクトは、Aシール、Bシールとする。
- ・高圧2ダクトは、Aシール、Bシールの他、特記によりCシールを行う。